



AA日本ニュースレター

AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-3590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F

100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

No. 32

関東かわらばん



能力ない、経験ない、知識ない、というスタッフ
が何とか第1回目を出すことができたのは平成2年
8月でした。とても第1号とは言えず、サンプル号
として発行させていただきました。

翌月『ちょっとお知らせ』号として2回目を、そ
して、3回目にやっと第1号として発行することが
できました。関東地域集会在関東地域に情報を伝える
ための機関紙を作ろうという話が出てから約半年
の月日が経ったわけです。

最初、その話が集会の中で可決され、広報委員
会で発行することになり、委員会を中心に何人かの
スタッフが集まり、ケンケンゴゴゴと言った感じで
何回も会議を開きました。その当時、有料50円と
いう設定で始まったのですが……。ネーミング
は割合簡単に決まりました。『関東かわらばん』の
名称はある女性メンバーの発案でした。あとは中身。
何しろ経験のない人間ばかりなのでさっぱり分かり
せん。せめて中学のころ、新聞部の経験でもつんで
おけば良かったとか、いろいろなことを言い合っ
ても、肝心の中身は丸っきりの状態で、ただいた
ずらに時が経つばかりといった感じでした。そんな
時、ある仲間が「とにかく出してみたら。後のこ
とはそれから考えたら」の提案で、何はともあれ第
1号として思い切って発行しました。

勿論、有料なんて考えられません。自信など全
くなく「やっちゃえ」という感じでした。当初、隔
月のつもりだったのですが、2回目にせめてグル
ープのお知らせだけでもとして『ちょっとおし
らせ号』を発行。そのあとやっと第1号として現
在の『関東かわらばん』の現型らしきものを発
行することができ、その時から毎月発行しよう、
そして無料でいこうとスタッフ一同独断で決定し
た次第です。

最初は各グループの紹介を定期的に掲載する
つもりで、いってみれば目玉にしようと考えてい
ましたが、

なかなかその記事が集まりません。各グル
ープの情報と共に、グループ間の交流を計り
たいといった感覚でした。今でもその気持
ちは変わりませんが思うようにいかず、何
号目かのときに「船頭が多すぎて、危う
く船が山へ登るところだった」なんて、皮
肉っぽい事を書いたこともありまし
た。初めてのころワープロも間々
ならず、仲間をお願いした状態
でしたが、今ではまがりなりにも操
作できるようになり、何とか毎
月発行させて頂いております。

現在500部を作成しております。関東甲信越
の各グループに3部、その他インター
オフィスや中間施設等に郵送、残
りはJSOにおいてあり、ほしい
人がいればコピー代として50
円を頂いております。現在では
各メンバーに1部との声も聞
かれるのですが、予算の関係で
不可能だと思われま。有料に
すればとも言われるのですが、
種々雑多な理由でそれを
実現するのは難しいと思いま
す。ただひたすら、各グル
ープでコピーをしてメンバー
に配布して頂くようお願いす
る方法しか考えられませんが、
全員に行き渡るよう、この
有料化の問題も前向きに考
えるべきものでないかと真
摯に受け止めております。

現在のスタッフの考えとしては前にも申し
ましたように、各グループの情
報と共に、グループ間の交
流を深めたいと考えていま
す。

この『関東かわらばん』でも、伝
言板作りに利用して頂きたい
と、機会あるたびにお願
いしている次第です。

現在でも、いまだにワープロ
も印刷もまだまだ未熟
ですし、内容自体にも全
く自信らしきものもあ
りません。ただ毎月発行
させて頂いているだけな
のですが、もっとより良
いものにしたいとは常
々考えております。仲
間の皆様には是非お願
いします。

J S O の これからの 方針



既にお知らせしましたように、J S Oは昨年12月22日、創立10周年記念集会を終了して次に向けてスタートいたしました。それは10年間の棚卸しを済ませたことにもなって、目指す方向が見えて来たようにも思え、次の3項目にまとめてみました。

1) J S Oはこれから益々、専門家集団との友好関係を穏やかに発展させて行きたいと思っています。

AAはアルコール依存症からの回復の分野を各機関や部分の一角を占めますから、自助グループや12ステップに基づく回復について正確な情報をスピーディに提供する必要があります。

また、各分野の専門家の執筆された文書や図書が多数送られて来ます。J S Oは専門家集団と有機的に対応しあって行くことによって、AAが回復の分野に貢献して行けるように願って、感想を述べたり情報を分かち合うことをします。それらはアマチュアとしての節度を守りながら、電話、手紙、相互訪問を重ねながら行われていきます。

2) J S Oは12ステップを使った自助グループや12ステップを大切にしている施設との関係をゆるやかに発展していくために日常的に行動していきます。

12ステップはアメリカ文化の中で開発され育まれてきましたから、日本の風土に土着することを性急に願うのは好ましくないと考えています。

12ステップの核心をなすハイヤーパワーという概念や12の伝統のバックボーンであるアノニマスや自立という概念は考え方によっては取り付きにくい側面です。「あんな難しいステップを誰が踏む」という声はAAの内にも外にもあります。AAの中にたどり着いた多数のメンバーにしてみれば、ミーティングに出るといった単純作業を繰り返すうちに与えられる気付きの積み重ねを表現すると、あのように一見難しいものになるだけのことなのです。

J S Oは性急さを避けますが、12ステップの日本への浸透をはっきりとした信念をもって進めてい

きたいと思います。

3) J S Oは先刻のメンバー、グループ、地区、地域と太いパイプをもつはずであります。今までは、それらと積極的にコミュニケーションを図っていくことが、時間的、経済的にできなかったのです。

振込みを頂いたメンバーやグループの方に領収書をお送りするときや、問い合わせのあった方々に手紙を書いたり、電話をするだけだったのです。

また、来てほしいと各地域から依頼があると、J S Oから交通費の負担をお願いし、それが可能であるとき初めて伺うという消極的なものだったのです。

J S Oは全国のAAと積極的にかかわっていきたいと思っています。こちらから手紙を出し、電話をかけ、出掛けていき、分かち合い、提案していきたいと思っています。

関東甲信越セントラルオフィス誕生がもし実現すれば、J S Oに新しく作り出される時間を充てて、まだAAを知らない苦しんでいるアルコール中毒者や、AAが遠くて手が届かない仲間たちに、AAが少しでも近いものにする努力をしていきたいと思っています。

J S Oはこれから益々意欲的に定期刊行物や多種類の出版物を発行頒布し、G S Mや全国の周年行事の事務局をも務めていきます。

海外のAAのある国々とのコミュニケーションはこれから他方面にわたっていき、特にアジア各国との連絡は辛抱強く行っていく必要があります。

また、慢性的なスペース不足も橋ビルの屋上プレハブが今年になって賃借可能となり、在庫図書を収納することによって、向こう3年程度の見通しがつきました。J S O法人化も3年位の予定で検討をスタートさせました。

しかし今、J S Oがしなければならない事は上に述べた1) 2) 3)です。それは日本AAの全国的な土台作りです。地味な仕事ですが時間を必要とする仕事です。もし関東甲信越セントラルオフィスが設立され、その分の仕事は何年かかけてJ S Oから移されていったとき、与えられた時間を全国AAの土台作りに充てたいのです。

献金を一緒に考えよう

『献金フォーラム』開催のお知らせ



〔AAは会費でなく、なぜ献金なのか?〕というテーマで自分が感じたことを会場で分かち合いませんか? この企画は、昨年のゼネラルサービスミーティングで、全国の地域評議員の一致した生の声から生まれたものです。12番目のステップの実践を確実に運んでいる証しとして、全国で新グループが次々と誕生しています。そのグループが自立し、存続して行く為に欠くことの出来ないのが『献金』です。

伝統7に〔経済的に自立するアルコール中毒者だって、誰も聞いたことはあるまい。しかし、我々はそう

しなければならないことに気付いた〕と書かれてあることをメンバー一人一人が考え、話し合うことによって、実のあるフォーラムになると確信しています。

そのために、テーマを〔AAは会費ではなく、なぜ献金なのか〕とし、話の焦点を「初めてミーティングに足を運んだとき自分になにが起き、そして今の自分になにができるのか」の原点に帰って、分かち合っで貰うことを目的としました。

また、このフォーラムは全国規模で開催し、主催をGSM献金フォーラム実行委員会とし、各地域の評議員が中心となり、チームを作って進めていきます。そしてその内容を評議員がまとめ、事務局に報告され、経験の蒸留としてグループに報告書の形で送られます。

このような全国規模で《献金》について分かち合う試みは初めてのことです。成功の鍵はあなたが参加してくれることです。有意義な分かち合いになることを念願しお知らせいたします。

日本GSM献金フォーラム実行委員会

J S O からののお知らせ

以前にもこのニューズレターの紙面でお知らせしましたとおり、書籍、資料の頒布価格体系を、本年3月1日より下記のとおり変更実施させていただきますのでご了承ください。

- 1) 従来のグループ10%引きを改め、通常価格で、頒布すること。
- 2) セントラルオフィス20%引きは従来の通り。
- 3) セントラルオフィスがメンバーに頒布する場合は通常価格を上限とすること。

- 4) 従来の10冊にたいして1冊のサービスは変更しないこと。
- 5) ワンデーから9カ月までのメダルを1枚200円から250円に改定すること。
- 6) 1年以上のメダルを1枚550円から600円に改定すること。
- 7) ラッフルチケットを印刷コストの上昇から、1枚当たり10円から15円とすること。

各地のラウンドアップのお知らせ

* AA関東甲信越'92ラウンドアップ

英語を話す方々と合同で

日程: 5月22日(金)~24日(日)

会場: 読売ランド会館(東京都稲城市)



* AA北海道陸上15周年記念ラウンドアップ

日程: 9月4日(金)~6日(日)

会場: 十勝川温泉

新刊案内

「今日を新たに」

AAメンバーによるAAメンバーのための内省の書 3月発売.....価格は追ってお知らせします。

1年365日を通して日を追いながら、その日一日を振り返り、自己を省み、またミーティングのテーマとして利用できるような本がAAの中でも欲しい。そのような本がないため、実際にAAのプログラムをどう踏んで行けばよいのかわからない。毎回ミーティングで司会者がテーマを探すのに苦労している。

・・・このような世界中のAAメンバーからの多数の要望に答えるため、1昨年末に、日々を追ったプログラムの書が出版されました。そしてこのほど日本語の翻訳が完了し、いよいよ3月の発行を待つのみとなっております。

本書の内容は、1日が1ページに収められ、各日付の次に、AAの出版物 ビッグブック、12のステップと12の伝統、AA成年に達する、その他未翻訳の本からの引用が紹介され、その引用について、それぞれのAAメンバーの考えが紹介されています。そして月毎のテーマを、1月はステップ1と伝統1、2月はステップ2と伝統2というふうに、12月までまとめられています。

この発行に当たっては、世界中のAAメンバーから原稿を募集しましたが、多数の応募からの選定基準は、プロの作家ではないこと、AAの序文にもあるように、いかなる宗教、宗派、政党、組織または施設にも縛られていないものであること、あくまでもメンバー個人の意見であること、となっております。したがって、必ずしも洗練された文章ばかりではありませんが、各メンバーが、ソプラエティについて、また職場や家庭での日常の体験について、このプログラムにそって自分を振り返りながら投稿した文章には、まさにAAメンバーによるAAメンバーのための内省の書にふさわしいものがたくさん詰まっています。

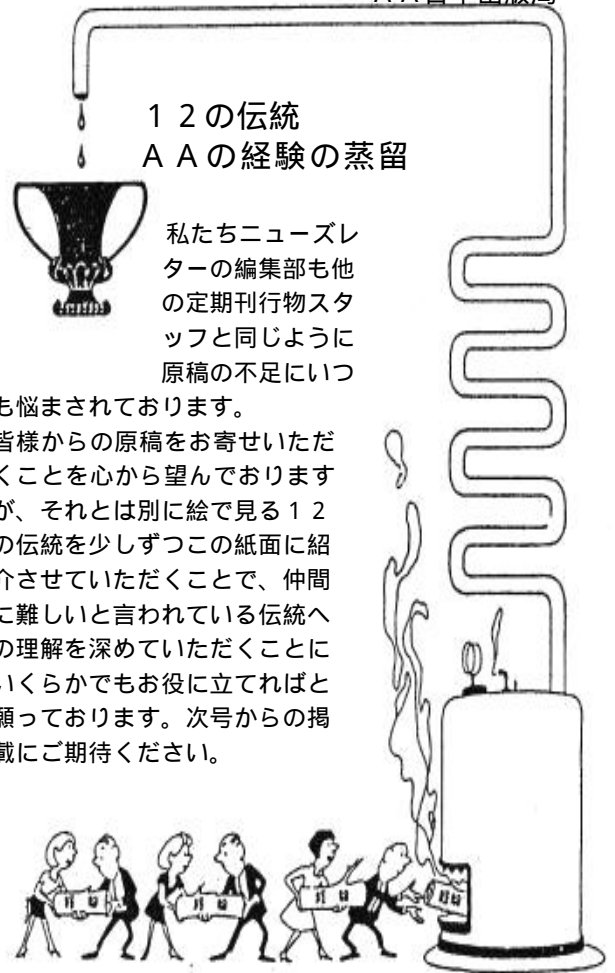
一人一人が、自分を振り返るため、または黙想のため、また、グループではミーティングのテーマにと、幅広く利用されることを願っております。

また、同時に、ここに引用された原典の多くのAA



の出版物にも、これを機会にもう一度触れていただけるよう、併せて願っております。

AA日本出版局



12の伝統 AAの経験の蒸留



私たちニューズレターの編集部も他の定期行物スタッフと同じように原稿の不足にいつ

も悩まされております。

皆様からの原稿をお寄せいただくことを心から望んでおりますが、それとは別に絵で見る12の伝統を少しずつこの紙面に紹介させていただくことで、仲間にも難しいと言われている伝統への理解を深めていただくことにいくらかでもお役に立てればと願っております。次号からの掲載にご期待ください。



左記、3種類のサービスマークを日本AA アルコホーリクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。